



函中だより

雄々しく 気高く

学校教育目標

夢や希望の実現に向けて 共に高め合う生徒

函南町立函南中学校
令和2年12月9日発行
文責 若月 哲也

ピンチをチャンスに！

早いもので、2020年も師走を迎えました。新語・流行語大賞に「3密」が選ばれるなど、今年はまさにコロナ色の年でした。1年前にラグビーワールドカップが開催され、「ONE TEAM」の結束力に胸を熱くし、見知らぬ者同士が肩を組んで声援を送った光景が遠い昔のここのように思い出されます。

2か月の休校からスタートして7か月。お陰様で、学校は日常を取り戻しつつあります。保護者の皆様には、毎朝のお子様の健康観察やトイレ消毒のサポートなど、懇切丁寧にご対応・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

修学旅行や合唱コンクールの中止、中体連や各種コンクールの縮小など、例年通りにいかないことが多かったにもかかわらず、子どもたちは本当に前向きに学校生活を過ごしてきました。その健気な姿に、私たち教職員もどれだけ励まされたことかわかりません。新型コロナウイルスは、私たちの生活や社会に大きな影響を及ぼしています。しかし、その一方で、新たに生まれる価値観や考え方は、必ずしも悪いものばかりではありません。新しい生活様式を踏まえながらの教育活動も、ウイルスの実態が明らかになってきたことで、その対応の仕方も変わってきています。「感染リスクがあるからできない」という発想ではなく、「どうやったら、



11.25 コロナ対応を再確認

安全にできるのか」を考えてみる。『with コロナ』の時代は、まさに私たちの考え方が問われているのだと思います。頭をほんの少し柔らかくして、私たち自身も成長していかなければ……。

まだまだ先の見えない不安な日々が続いています。しかし、目の前の道が必ず「希望」へと続くことを信じて、子どもたちとともに、焦らずに進んでいこうと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、今学期もたいへんお世話になりました。少し早いですが、よいお年をお迎えください。3学期も、本校の教育活動への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



11.11 校外学習（富士宮方面）7,8組

進路説明会が行われました！

11月9日（月）に私立高校、27日（金）に公立高校という計画で、進路説明会（3年生対象）が開催されました。子どもたちは、興味のある学校の説明会場を訪れ、学校紹介や学校が期待する生徒像など、高校の先生から具体的なお話をうかがいました。説明会の終わりには、体育館に集合して入試の方法や必要な手続き等について、中学校から説明をしました。

3年生にとっては、いよいよ進路の実現に向けた準備が、現実味を帯びてきました。今こそ、「雄々しく、気高く」自信をもってチャレンジしてほしいと願っています。



「税についての作文」コンクール、会長賞を受賞!!

全国納税貯蓄組合連合会並びに国税庁が主催する「令和2年度税についての作文」コンクールにおいて、2年生の■■■■さんが三島田方納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しました。去る11月17日、会長の渡邊収造様および三島税務署より担当職員の方が来校され、表彰状を受け取りました。



以下に、受賞作品をご紹介します。

「税金はみんなの保険」

あなたは、税金をどのようなものだと思っていますか？僕は小学校低学年の時、税金は国のために働く人へのお給料として集めているものだと思っていました。その頃は物を買うごとについてくる消費税しか知らなかったのですが、日本国内だけでもたくさんの物が買われていることから、日本のために働く人たちの給料はとても高額だと思い込み、税金に賛成していませんでした。しかし、小学校中学年になり、税金についての講習があった時、ぼくは税金に対する思いが変化しました。

税金にはいろいろな種類があり、消費税の他に固定資産税や所得税、相続税、関税など、いろいろなものに税金がかかることを知り、その時も税金に反対していた僕は、一瞬、税金に不公平さを覚えました。そのあとの話で僕の気持ちは一変しました。税金が自分たちの生活に戻ってきているというのです。

僕たちが学校に通うためには、両親が貯めたお金を出して通っていると思っていましたが、両親の他にも「日本が税金で支払ってくれている」ことに、税金がどこに行くかを知らなかった僕は、とても驚きました。学校のパソコンや教科書、実験器具にも税金が使われていることもわかりました。これを受けて、税金の動きがよくわかり、税金の受け止め方が変化しました。

税金は、たくさん集めていて、たくさんあるように思いますが、公共施設の建設費や一つの学校につき数百人単位の生徒に配る教科書に加え、研究や公的サービスに、緊急時の支援などのたくさんのことに支出していると、お金が足りるのかわからなくなってしまうと思います。

今現在、コロナウイルスの影響で、医療機関がとても混乱していると思います。医療機関を支援しているのに加え、給付金も国民に配っているため、日本の税金の在庫は、数少ないのではないのでしょうか？

税金とは、みんなで寄せ合って社会を作る募金とは違ったものだと思います。みんなで決められた分だけお金を集め、みんなのために出費をする。みんなに共通する保険のようなものだと僕は思います。税金は、いろいろなところにかかってくるため、少し手間がかかるような感じがしますが、その手間一つで社会が大きく変化することができるのです。税金があるからには、すべての人に対して平等な生活をしていくように心がけていきたいと思っています。

次は、この秋に行われた各種コンクールの受賞者です。おめでとうございます。

- ・第20回 自己表現コンクール（主催：NPO 現代用語検定協会）絵画の部入選 ■■■■さん③
- ・第58回 中学生作文コンクール（主催：生命保険文化センター）静岡県2等 ■■■■さん③

【お知らせ】 ※3年生のみ

3年生の保護者の皆様へのお知らせです。校納金として毎月9,000円を集金しておりましたが、年度末までの教材費や各種集金（給食費、PTA会費、生徒会費、部活動助成金）を試算したところ、これまでの集金額でまかなえることが明らかになりました。そこで、12月から2月までの校納金の集金を停止させていただきます。残金につきましては、年度末に精算して返金いたします。ご承知おきください。